

# 防災・減災による事業継続・早期復旧



アスマイルジャパン株式会社

業種	所在地	代表者名
ローゼル商品卸・小売業	忍野村	陳 文祈
設立年月		従業員数
平成27年5月		1名
ホームページ		
<a href="http://a-smile-japan.jp/">http://a-smile-japan.jp/</a>		

## 1 会社・事業の概要

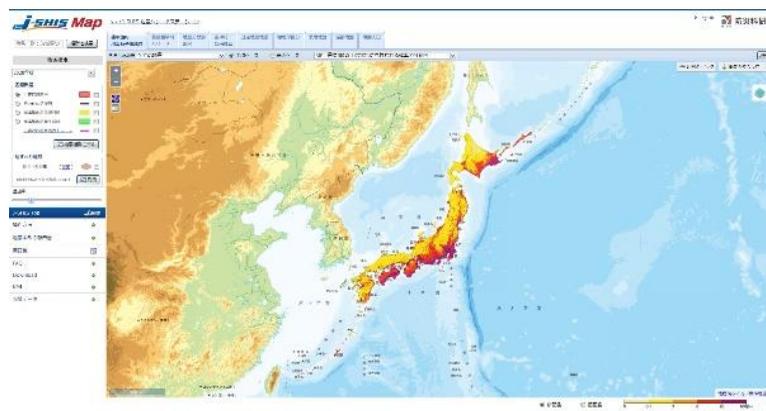
台湾で日常生活で食べられているローゼル（食べるハイビスカス）を日本国内でも普及させて日本と台湾をつなぐ架け橋となることを目指している。

## 2 計画策定のきっかけ

新型コロナウイルスの流行により事業への影響が多岐にわたったことから、本計画をきっかけに感染症や災害について対策を考えようと思い計画を策定する決意をしました。災害時における被害を最小限に止め、卸売・小売事業の継続もしくは早期再開を目指す。

## 3 計画策定の取組について

- ・当事業所が富士山の麓に事業所を構えており、取引先が県内外・国内外問わず取引を行っているため、災害による事業への影響が大きい特徴がある。
- ・実際に当事業所所在地で災害が起きたときのことを想定しながら策定をした。
- ・当事業所は上述した通り、県内外・国内外問わず取引を行っているため、あらゆる災害によるリスクを想定しなければいけなかったが、J-SHISや山中湖村土砂災害ハザードマップや人脈を通じて情報を収集し、想定されるリスクに対して可能な限りの対策を計画することができた。



## 山中湖村

### 土砂災害ハザードマップ



## 4 計画に基づく実施状況

- ・厚生労働省等で掲示されているパンフレットをもとに従業員へ手洗い、うがいや咳エチケットの徹底をするように社員教育を行った。
- ・災害情報アプリの導入、空気清浄機の導入。
- ・火災保険や地震保険はもともと加入済みだが感染症に対する保険加入については保険内容を検討中。
- ・マスクや消毒液の常備。



▲本計画に基づき導入した空気清浄機

## 5 計画策定の効果

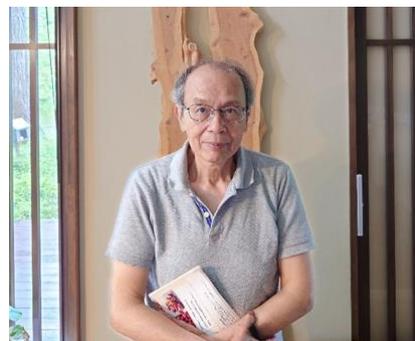
- ・防災に対して意識を持つようになったため、備品や書類などの整理を日頃から頻繁に行うようになった。
- ・商品を保管する拠点が山中湖のみだったがリスク分散として仙台にも拠点を持つようになった。
- ・空気清浄機の導入や日頃からの備品・書類整理によって、事務所の環境が整い、商談などが行いやすくなった。

## 6 今後の取り組み

取引先との連携を深めていくことで、災害時などの緊急時に事業の継続・早期復旧ができるように図っていく。

## 7 計画を策定した感想

本計画を立てて、従業員と共有したことで、従業員とのコミュニケーションが円滑に図れるようになった。



## 8 計画策定を検討されている事業者に対してのアドバイス、メッセージ

事業継続力強化計画は、商工会などの支援機関に相談することやWEB上の簡単ナビを活用することで時間をかけることなく策定することができ、会社の災害対策を見直す良いきっかけになると思う。

## 9 策定支援機関からひと言

社長は全国各地のイベントに出店したり新商品開発を行うなど積極的に事業拡大に向けた取り組みを行っており、多忙な毎日を送っていますが、本計画についても時間を確保しながら真剣に計画を策定していました。商工会としては、実際に営業所へ訪問させていただくことで社長と防災・減災に関する課題を共有し、より具体的な計画書が策定できるように支援をしました。

(南都留中部商工会 経営指導員 若林)

